

川崎市議会議員 いわくま ちひろ 市役所内部での政治活動はダメ

民進みらい川崎市議団
川崎市長
連載No.98

9月議会では、市と市内各種業界団体から構成されている政治団体との関係について、厳しく追及しました。私の議会質疑内容については、読売・毎日・神奈川新聞にも掲載されました。

現職市長の支援を明言している政治団体が、6月上旬に市役所内部の公文書を扱う部署に無断で侵入



川崎市議会議員 いわくま ちひろ

- 昭和50年生まれ 42歳
- 英国国立ウェールズ大学卒業 ロンドン大学大学院研究生 専門は国際政治学
- 国際派議員として、子どもから大人まで英語学とキャリア教育を教える。毎週日曜日は、イトーヨーカドー溝口店前で市政報告を継続中！(10年11カ月)

2つの問題を抱えています。①市の公文書を扱う部署に部外者が無断で侵入したというセキュリティの問題、②政治団体が、市役所内部で政治活動を行ったという問題。

①に関しては、普通であれば、公文書を扱う部署に無断で部外者が侵入したのですから、警察に届けるべきではないか？という私の指

摘に対し、市は、自分たちにもセキュリティに関して落ち度があったので速やかに対策を講じるといって議会答弁でした。

②に関しては、これが現職の市職員が関与していたのであれば、公職選挙法等に抵触する事件ですが、今回は政治団体の事務局を務めている市職員OBが関与していたということもあり刑事事件までには発展しませんでした。

いずれにしても、市役所内部で政治活動を行うことは認められていません。また、一歩間違えば、現職の市職員のみなさんを事件に巻き込んでいた可能性すらあります。

この政治団体は、前述したように市の主な業界団体から構成されているため、多額の補助金を市から受け取っている団体です。そのような団体が、公文書を扱う市役所内部の部署に無断で侵入

し、現職市長の支援を促す政治資金パーティの案内状を配布するといった行為は、許されるべき行動ではありません。

各種業界団体のみなさんには、川崎市政発展に協力して頂いている側面もあります。私たち議員も様々な形で意見交換などを行っています。しかし、今回の一件は、一線を越え過ぎた行動です。

行政と各種業界団体との行き過ぎた関係性は、昨今、国でも問題になった「忖度政治」に繋がりがかねません。

今回は、市が誤った方向に進まないよう議会で追及しました。大きな事件に発展する前に、間違っていることは議会のチェック機能として修正を求めていかなければなりません。

今後とも、しがらみのない市政と改革姿勢を堅持していきます。